



## 子育て中の親を支えたい

子育て支援活動講座「はじめの一步」

町では、子育て中の親をサポートする子育てサポーターやボランティアを増やしていくため、全5回の子育て支援活動講座「はじめの一步」を開催しました。

2回目の講座は、東近江子ども家庭相談室の久保宏子さんから「子どもの人権と現状」をお話しいただきました。久保さんは「すべての子どもは、安心して、自信を持って、自由に生きる権利(人権)があります。人権侵害の中でも子どもが一番傷つける虐待は、未然に防ぐことが大切で、そのためには、地域で親を支えることが必要です。自分の苦労話等も交えて親の話を聴き、親と子を孤立させない関係を築いていきたいと思います」と話されました。

その他の回では、子どもの健康・発達に関する講座や実習などが行われ、子育て支援の「はじめの一步」を踏み出す機会となりました。



▲身振りも交えながら人権について分かりやすくお話しされました

## 女性の力で魅力あるムラに変えよう

女性のムラづくり講座



▲女性ならではの視点でさまざまなアイデアが出されました

12月15日(土)、日野公民館で「女性のムラづくり講座」が開催されました。この講座は、地域づくりについて女性の視点で考え、男性も女性も住みやすい、魅力ある地域をつくっていくことを目的として開催されました。

講座は第一部「女性のチャレンジを語る」と題して滋賀県地域女性団体連合会会長の中野璋代さんの講演の後、第二部では「ムラの10年後を育てる女性達の活躍を探る」として山口県美土里ネット女性の会会長の藤井チエ子さんによるワークショップが行われました。ワークショップでは、集落の現状、15年後の予測を地図に描き、確認したうえで、夢のある集落にするために自分たちや集落でできることを話し合い、具体的な取り組みを考え合いました。

## “食”の大切さを考えよう

生きる力をはぐくむ“食育”講演会

12月19日(水)、日野公民館ホールで生きる力をはぐくむ“食育”講演会が行われました。この講演会は、三方よし! 近江日野田舎体験推進協議会が、近江日野田舎体験の一番の目的である「交流」に欠かすことのできない「食」について考えることを目的として開催され、115名の参加者がありました。

第一部で民泊受入家庭の藤澤謙治さん(清田)による田舎体験事例発表があり、第二部で佐藤剛史さんによる食育講演会が行われました。

佐藤さんの講演では、大学生の普段の食生活が、お菓子やカップラーメンだけという実態を話された後、月に一度児童が自分でお弁当を作るという取り組みを紹介し、ご飯を自分で作れることが「かっこいい」という価値観を育てる大切さを話されました。



▲“食”にまつわるさまざまな体験を話され、会場では涙を浮かべる参加者の姿もみられました



# まちの

## 年の初めに心を通わせて

### 第33回町民年賀状展

1月1日(祝)、馬見岡綿向神社で日野町連合青年会主催による第33回町民年賀状展が開催されました。今年700点以上の年賀状が出品され、絵の具、色鉛筆、墨、版画などさまざまな技法を使った年賀状が並びました。池内教真会長は「近年、年賀状はパソコンなどで簡単に作成できるようになり、手書きのものが減ってきています。今日ここに出展された年賀状はすべて手書きの年賀状。手書きの温かみ、すばらしさを感じてほしいです」と話されました。

出展された作品は日野町立図書館や近江日野郵便局でも展示されました。



▲今年の干支「巳」にちなんだ年賀状が多数出展されました

◀手作りの甘酒が来場者に振舞われました

## 新春を祝う優雅なしらべ

### 新春を寿ぐコンサート —悠久の文化を感じて—

1月6日(日)、日野町町民会館わたむきホール虹のふれあいホールで新春を寿ぐコンサート—悠久の文化を感じて—が開催されました。

会場は、新春にふさわしく青竹や金屏風が舞台に並び、その中でわたむき邦楽の会「夢絃」の皆さんが箏や尺八三絃といった邦楽器を演奏されるなど和の雰囲気にも包まれました。

また、鏡社中と西大路公民館茶道クラブの皆さんによるお茶席が用意され、観客の皆さんは演奏を聴きながら、お茶を楽しみました。ゆっくりと時間が流れ、心和む新春のひとときとなりました。



▲新春にふさわしい演出が行われました

お茶席で演奏とお茶を楽しむ皆さん



## かるたで熱戦を展開

### 各地区で「かるた大会」を開催

1月12日(土)、東桜谷公民館と西大路公民館で小倉百人一首を用いた「かるた大会」が行われました。

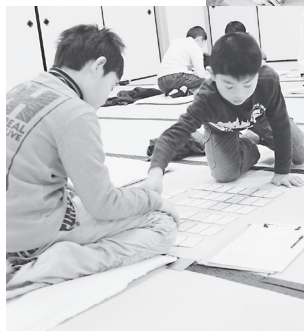
子どもたちは、各集落や個人で練習を重ねており、3人1組で行う団体戦では1人ずつが覚える札、取る札を分けるなど3人の息と力を合わせた試合をされていました。

大会は読み手が読む、初めの文字が勝負。試合の張りつめた空気のなか、読み手が札を読みはじめると、選手たちは「ハイッ」という大きな声とともに元気に札をとっていました。

1月27日には日野公民館で第32回新春子ども大会「かるた会」が行われ、各地区を代表する選手たちがかるたで交流しました。



▲団体戦はチームワークも大切(東桜谷公民館)



◀白熱した試合が行われました(西大路公民館)